

ご利用の方へ

○2020 年度の移行措置による学習内容の追加について○

2020 年度の移行措置により追加及び省略される学習内容がございます。本資料は、2017 年度の文部科学省発表内容をもとに、2020 年度に追加及び省略される学習内容について、解説したものです。

ただし、学校での学習内容と本資料の内容が異なる場合がございます。

ご了承ください。

【追加の内容】

- ・第 1 分野「力のはたらき」を学習する際に、「2 力のつり合い」の追加。
- ・第 2 分野「火山と地震」を学習する際に、「自然の恵みと火山災害・地震災害」の追加。
- ・第 2 分野「植物の生活と種類」を学習する際に、「動物の仲間」の追加。

【省略の内容】

- ・第 1 分野「力のはたらき」を学習する際に、「圧力」の省略。
(翌年の第 2 学年、及び翌々年の第 3 学年で学習します。)
- ・第 2 分野「植物の生活と種類」を学習する際に、「葉・茎・根のつくりと働き」の省略。
(翌年の第 2 学年で学習します。)

次ページ以降の補充問題の答え

- ①つり合っている ②等しく ③反対 ④同一直線 ⑤垂直抗力
⑥プレート ⑦津波 (海底地すべり, 災害でも可) ⑧溶岩流^{ようがんりゅう} ⑨火砕流^{かさいりゅう} ⑩火山灰
⑪地熱
⑫肉食^{にくしよく} ⑬草食^{そうしよく} ⑭雑食^{ざっしよく} ⑮水中 ⑯陸上 ⑰卵生^{らんせい} ⑱胎生^{たいせい} ⑲変温^{へんおん} ⑳恒温^{こうおん}
㉑うろこ ㉒うろこ ㉓羽毛^{うもう} ㉔毛^け ㉕えら ㉖肺
㉗無脊椎^{むせきつい} ㉘外骨格^{がいこつかく} ㉙節足^{せつそく} ㉚昆虫^{こんちゅう} ㉛甲殻^{こうかく} ㉜外とう膜^{がいまく} ㉝軟体^{なんたい}

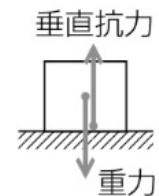
物体が動かないための条件

●次の□にあてはまる語句を答えましょう。

1 つの物体に 2 つの力がはたらいて、その物体が静止しているとき、物体にはたらく力は①□という。

また、2 力がつり合っているとき、2 力の大きさは②□，2 力の向きは③□であり、2 力は④□上にある(作用線が一致する)。

例えば、机の上に置いた物体にはたらく重力は、机から物体にはたらく⑤□とつり合っている。



※矢印が重なるとわかりにくいため、少しずらしてかいてある。

つり合っている 2 力は[同一直線]上にあり、向きは[反対]で、大きさは[等しい]です。



自然が人間の生活におよぼす影響

●次の□にあてはまる語句を答えましょう。

地震や火山活動などによる大地の変化は、⑥□の分布や動きと関連している。

海底下に震源をもつ大規模な地震は、⑦□をとまなうことが多い。

火山が噴火すると、⑧□が家屋や森林を消失させることがある。(⑧)は山麓では比較的ゆっくり移動するので、避難できる時間があることが多い。一方、火山灰などが高温の火山ガスとともに流れ下る⑨□は、高速で移動するため非常に危険である。また、⑩□が厚く降り積もったところに雨が降ると泥流を起こすことがあり、麓を埋めてしまうことがある。

火山の高温の蒸気や温泉水を、⑪□発電に利用することもある。



▲火山の噴気孔(宮崎県えびの高原)

噴気孔のまわりの黄色い結晶は硫黄。

自然の[災害]や[恩恵]のしくみを理解し、自然との[共生]を考える必要がありますね。



脊椎動物のなかま

●次の表の□にあてはまる語句を答えましょう。



分類名(動物例)	ぎょるい 魚類(フナなど)	りょうせいるい 両生類(カエルなど)	ちゅうるい は虫類(カメなど)	ちようるい 鳥類(ハトなど)	ほにゅうるい 哺乳類(ウマなど)
生活環境	⑮	子(幼生)は水中 親(成体)は陸上	⑯		
子の生まれ方	⑰				⑱
体温		⑲ □ 動物		⑳ □ 動物	
体の表面	㉑	湿った皮膚 <small>ひふ</small>	㉒	㉓	㉔
呼吸器官	㉕	子はいら 親は肺と皮膚	㉖		

草食動物と肉食動物 (哺乳類)

●次の文中の□にあてはまる語句を下から選んで答えましょう。

(㉒) 動物は[犬歯]，
(㉓) 動物は[臼歯]が
大きく発達しています。



おもに他の動物を食べる動物を㉒ □ 動物，
おもに植物を食べる動物を㉓ □ 動物，動物も植物も食べる動物を㉔ □ 動物という。
語群 [草食，肉食，肉食，肉食，肉食]

無脊椎動物のなかま

●次の文中の□にあてはまる語句を答えましょう。



背骨をもたない動物を㉗ □ 動物という。(㉗) 動物のバッタやザリガニの体は、
じょうぶな殻のような㉘ □ でおおわれている。
体やあしが、多くの節に分かれている動物のなかまを㉙ □ 動物という。(㉙) 動物の
なかで、セミなどのなかまは㉚ □ 類、エビやカニなどのなかまは㉛ □ 類という。
イカやタコの内臓は㉜ □ でおおわれ、このような動物のなかまを㉝ □ 動物という。

